



# Cisco UCS ハードウェア互換性レポートの管理

この章は次のトピックで構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [OS ベンダーおよびバージョンのタグ付け \(2 ページ\)](#)
- [ハードウェア互換性レポートの作成 \(3 ページ\)](#)
- [ハードウェア互換性レポートの同期 \(4 ページ\)](#)

## 概要

Cisco UCS のハードウェア互換性レポートでは、シスコまたはシスコパートナー（あるいはその両方）によってテストおよび検証された、Cisco UCS のコンポーネントおよび設定に関する相互運用性情報を確認できます。レポートを実行し、現在のソフトウェアバージョンまたはターゲットのソフトウェアバージョンと照らし合わせてステータスを確認することができます。

ハードウェア互換性レポートでは、サーバのオペレーティングシステムの互換性がチェックされます。さらに、そのオペレーティングシステムに関連付けられているアダプタドライバがチェックされます。

Cisco IMC Supervisor は、Cisco UCS ハードウェア互換性レポートツールと統合して、サーバ、ファームウェア、および関連コンポーネント（ストレージ、ネットワークアダプタ、VIC アダプタ）が特定のサーバモデル、OS ベンダ、バージョン、およびプロセッサの組み合わせでサポートされているかどうかに関する情報を提供します。



(注) Cisco UCS ハードウェア互換性レポートツールは、Cisco C シリーズ/S シリーズ サーバでのみ使用可能です。

このツールの独立バージョンは <https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public> から入手できます。Cisco IMC Supervisor コネクタは、このツールが公開する REST API を使用して互換性レポートを取得できます。

Cisco UCS ハードウェア互換性レポート ツールを使用するには、次の点を確認する必要があります。

- DNS が正しく設定されており、Cisco IMC Supervisor アプライアンスから URL <https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/> に到達できる。
- cisco.com のクレデンシアルを入力している。Cisco.com ユーザの設定を参照してください。

## OS ベンダーおよびバージョンのタグ付け

ラック サーバには、オペレーティング システムのベンダーとバージョンでタグ付けする必要があります。次の手順で、システム レベル、ラック グループ レベル、またはラック サーバ レベルでサーバを選択して、サーバにタグを付けることができます。

### 手順

**ステップ 1** [システム (Systems) ] > [インベントリと障害のステータス (Inventory and Fault Status) ] を選択します。

**ステップ 2** [ラック サーバ (Rack Servers) ] でラック サーバを選択するか、[ラック グループ (Rack Groups) ] を展開してタグ付けするラック サーバを選択します。

**ステップ 3** [HCR の OS タグを管理 (Manage OS Tag For HCR) ] をクリックします。

(注) OS タグは E シリーズ サーバには適用できません。

**ステップ 4** ドロップダウンリストから [オペレーティング システムのベンダー (Operating System Vendor) ] を選択します。

**ステップ 5** ドロップダウンリストから [オペレーティング システムのバージョン (Operating System Version) ] を選択します。

(注) OS ベンダーまたは OS バージョンがドロップダウンリストに表示されていない場合は、DNS が正しく設定されており、Cisco IMC Supervisor アプライアンスから URL <https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/> に到達できることを確認します。また、[管理 (Administration) ] > [システム (System) ] > [システム タスク (System Tasks) ] 画面にある [ハードウェア互換性レポートの同期 (Synchronize Hardware Compatibility Reports) ] システム タスクを手動で実行します。

**ステップ 6** [送信 (Submit) ] をクリックします。

(注) ラック サーバを選択して [HCR の OS タグを削除 (Delete OS Tag For HCR) ] をクリックし、作成したタグを削除できます。

## ハードウェア互換性レポートの作成

タグを追加し、cisco.com クレデンシャルを入力したら、互換性レポートを生成できます。

### 始める前に

- レポートを生成する前に、cisco.com のクレデンシャルを入力していることを確認します。  
[Cisco.com ユーザの設定](#)を参照してください。
- ラック サーバにオペレーティング システム ベンダーとバージョンのタグを付けていることを確認します。[OS ベンダーおよびバージョンのタグ付け \(2 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [ポリシー (Policies) ] > [ハードウェア互換性レポート (Hardware Compatibility Report) ] を選択します。

**ステップ 2** [+] をクリックしてハードウェア互換性レポートを作成します。

**ステップ 3** [プロファイルの選択 (Select Profile) ] フィールドにプロファイル名を入力します。

**ステップ 4** [サーバの選択 (Choose Server) ] を展開し、設定を取得するサーバを選択します。

**ステップ 5** [Validate] をクリックします。

**ステップ 6** [送信 (Submit) ] をクリックします。

[ハードウェア互換性レポート (Hardware Compatibility Report) ] 画面で、作成したレポートを確認します。ラック グループまたはラック サーバを選択し、[ハードウェア互換性レポート (Hardware Compatibility Report) ] をクリックして、レポートを表示することもできます。

### 次のタスク

作成したレポートを選択し、[削除 (Delete) ]、[編集 (Edit) ]、[HCL レポートを同期 (Synchronize HCL Report(s)) ]、または[ステータス詳細の表示 (View Status Details) ] を選択できます。レポートでは、サーバがサポートされているかどうか、サーバに互換性があるかどうかを示されます。[コンプライアンス (Compliance) ] は次のいずれかの状態になります。

- [完全に準拠 (Fully Compliant) ] : サーバの OS ベンダー、バージョン、またはプロセッサと、その関連コンポーネントが完全にサポートされています。

- [部分的に準拠 (Partially Compliant) ] : いくつかのコンポーネントがサポートされていないことが検出されています。
- [非準拠 (Not Compliant) ] : 準拠エラーが発生しているか、またはサーバと関連コンポーネントの特定の組み合わせが無効です。
- [エラー (Error) ] または [決定不能 (Cannot Determine) ] : 特定のサーバがタグ付けされていないか、またはバックエンドから応答を取得する際にエラーが発生しました。

## ハードウェア互換性レポートの同期

[ハードウェア互換性レポートの同期 (Synchronize Hardware Compatibility Reports) ] システムタスクは毎週実行され、定期的にハードウェア互換性レポートをバックエンドと同期します。レポートを手動で同期するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

- URL <https://ucsheltool.cloudapps.cisco.com> を設定します。
- [cisco.com](https://cisco.com) のクレデンシャルを設定します。 [Cisco.com ユーザの設定](#) を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** [管理 (Administration) ] > [システム (System) ] を選択します。
  - ステップ 2** [システム (System) ] ページで [システムのタスク (System Tasks) ] をクリックします。
  - ステップ 3** [ラック サーバタスク (Rack Server Tasks) ] を展開し、[ハードウェア互換性レポートの同期 (Synchronize Hardware Compatibility Reports) ] を選択します。
  - ステップ 4** [今すぐ実行 (Run Now) ] をクリックします。
  - ステップ 5** [送信 (Submit) ] をクリックします。

(注) [ハードウェア互換性レポート (Hardware Compatibility Report) ] ページからレポートを手動で同期するには、[HCL レポートを同期 (Synchronize HCL Report) ] オプションも使用できます。

---